

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月14日

上場会社名 トレンダーズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 6069 URL https://www.trenders.co.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒川 涼子
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 田中 隼人 TEL 03-5774-8876
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	2,694	△41.6	344	△47.7	339	△49.3	210	△54.6
2023年3月期第2四半期	4,611	50.2	658	117.9	669	124.1	462	131.8

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 225百万円 (△51.2%) 2023年3月期第2四半期 463百万円 (132.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	29.17	27.99
2023年3月期第2四半期	64.48	60.73

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2024年3月期第2四半期	5,347		3,197		59.8
2023年3月期	5,428		3,377		62.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 3,196百万円 2023年3月期 3,375百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	22.00	22.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,215	△31.6	1,150	13.7	1,150	12.5	780	10.0	108.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	7,949,400株	2023年3月期	7,628,800株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	605,985株	2023年3月期	433,785株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	7,207,075株	2023年3月期2Q	7,177,683株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループが属するインターネット広告市場は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響があった中でも社会のデジタル化にともなって着実な成長を続け、2022年の市場規模は3兆912億円（前年比14.3%増）となり、日本の総広告費の43.5%を占めております。また、2022年の日本の総広告費は前年比4.4%増の7兆1,021億円で、調査が開始されてから過去最高となりました。（※1）インターネット広告が広告市場全体を支え、牽引している状況といえます。

インターネットが社会全体のインフラとなっている現在、インターネットでアクセスできる各種プラットフォームやWebサイト、Webサービス等は、生活者にとって欠かせない情報源であり、中でも、多種多様なアカウントより発信される情報をリアルタイムで入手できるSNSは、生活者の意識や購買行動に与える影響力を増しております。企業においても、SNSを活用したマーケティングに注力する動きが加速しており、2023年のソーシャルメディアマーケティングの市場規模は、前年比17.0%増の1兆899億円と拡大する見込みです。（※2）

（※1）出典：株式会社電通「2022年 日本の広告費」

（※2）出典：サイバー・バズ/デジタルインファクト調べ

こうした環境のもと、当社グループにおいては、事業の選択と集中を図りながら、更なる成長を見据えた事業投資を実施しつつ、顧客企業及び生活者のニーズに合致するSNSを軸としたデジタルマーケティングソリューションの開発・提供に注力いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	2,694,747千円（前年同期比41.6%減（※3））
営業利益	344,036千円（前年同期比47.7%減）
経常利益	339,440千円（前年同期比49.3%減）
親会社株主に帰属する四半期純利益	210,234千円（前年同期比54.6%減）

（※3）上記の売上高の減少要因としては、当期首より、マーケティング事業の一部取引について契約内容の変更を行い、売上高がグロス（総額）計上からネット（純額）計上となった影響（前年同期比38.4%減）を含んでおります。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

①マーケティング事業

マーケティング事業は、「美容マーケティング領域」「メディカルマーケティング領域」の2領域から構成されます。各領域の内容は以下の通りであります。

<美容マーケティング領域>

主に美容カテゴリの顧客企業に向けたSNSマーケティング支援

<メディカルマーケティング領域>

美容クリニックに向けたマーケティング・運営DX支援とクリニック専売品の開発・販売

本事業においては、事業の選択と集中によって美容カテゴリ以外のインフルエンサーサービスや自社メディアにおいて減収となった一方、堅調なSNSマーケティング需要を背景として、美容カテゴリのインフルエンサーサービス及び自社美容メディアであるMimiTVが好調に推移してまいりました。

また、当期及び来期を投資期と位置づけてMimiTVにおける大型プロモーション施策を実施し、広告宣伝費が大幅に増加しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	2,639,980千円（前年同期比38.0%減（※4））
セグメント利益	353,358千円（前年同期比41.1%減）

（※4）上記のマーケティング事業の売上高の減少要因としては、前述のとおり、一部取引について契約内容の変更を行い、売上高がグロス計上からネット計上となった影響（前年同期比41.6%減）を含んでおります。

②インベストメント事業

インベストメント事業は、保有する資金を効果的、効率的に運用するため、非上場会社等への投資を行っております。

本事業においては、営業投資有価証券として保有する社債の利息収益が発生いたしました。また、前第2四半期連結累計期間においては営業投資有価証券の売却による売上高及び利益を計上しましたが、当第2四半期連結累計期間においては売却案件が発生しませんでした。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	54,767千円(前年同期比84.6%減)
セグメント利益	53,707千円(前年同期比53.3%減)

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は5,347,092千円(前連結会計年度末比81,576千円減少)となりました。主な要因は、売掛金の増加があった一方で、法人税等の納付、配当金の支払、自己株式取得に伴う預金の減少があったことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は2,149,266千円(前連結会計年度末比98,541千円増加)となりました。主な要因は、未払法人税等の減少があった一方で、短期借入金の増加があったことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は3,197,825千円(前連結会計年度末比180,118千円減少)となりました。主な要因は、自己株式取得による自己株式の増加があったこと、及び一般社団法人涼香会の連結に伴い利益剰余金が減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,262,929千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は116,015千円(前年同期間は72,417千円の獲得)となりました。この主な要因は、法人税等の支払いがあった一方で、税金等調整前四半期純利益を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は213,235千円(前年同期間は21,784千円の使用)となりました。この主な要因は、固定資産の取得による支出や関係会社への貸付けによる支出、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は153,794千円(前年同期間は12,209千円の使用)となりました。この主な要因は、短期借入れによる収入やストック・オプション行使に伴う株式の発行による収入があった一方で、配当金の支払や自己株式の取得による支出があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました内容から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,513,712	1,262,929
受取手形及び売掛金	1,251,542	1,324,188
営業投資有価証券	2,157,577	2,172,135
商品	38,826	35,021
仕掛品	33,246	42,105
その他	172,216	125,272
貸倒引当金	△1,267	△1,355
流動資産合計	5,165,854	4,960,298
固定資産		
有形固定資産	52,751	113,773
無形固定資産		
のれん	20,193	76,481
その他	52,567	52,901
無形固定資産合計	72,761	129,382
投資その他の資産	137,301	143,637
固定資産合計	262,814	386,793
資産合計	5,428,668	5,347,092
負債の部		
流動負債		
買掛金	698,288	711,933
短期借入金	800,000	1,000,000
未払法人税等	219,823	120,143
その他	313,011	287,562
流動負債合計	2,031,122	2,119,638
固定負債		
資産除去債務	19,602	19,627
その他	—	10,000
固定負債合計	19,602	29,627
負債合計	2,050,724	2,149,266
純資産の部		
株主資本		
資本金	568,365	622,466
資本剰余金	548,854	602,955
利益剰余金	2,571,137	2,468,197
自己株式	△297,714	△497,679
株主資本合計	3,390,642	3,195,940
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△15,004	702
その他の包括利益累計額合計	△15,004	702
新株予約権	2,305	1,183
純資産合計	3,377,943	3,197,825
負債純資産合計	5,428,668	5,347,092

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	4,611,816	2,694,747
売上原価	3,211,989	1,216,727
売上総利益	1,399,827	1,478,019
販売費及び一般管理費	741,780	1,133,983
営業利益	658,046	344,036
営業外収益		
受取利息	—	1,031
助成金収入	14,513	—
雑収入	697	847
その他	4	155
営業外収益合計	15,215	2,034
営業外費用		
支払利息	3,624	3,902
支払手数料	—	2,727
その他	229	—
営業外費用合計	3,854	6,630
経常利益	669,408	339,440
特別利益		
事業譲渡益	4,755	—
特別利益合計	4,755	—
特別損失		
固定資産除却損	—	934
特別損失合計	—	934
税金等調整前四半期純利益	674,164	338,505
法人税、住民税及び事業税	208,541	116,620
法人税等調整額	2,797	11,651
法人税等合計	211,338	128,271
四半期純利益	462,825	210,234
親会社株主に帰属する四半期純利益	462,825	210,234

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	462,825	210,234
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	436	15,706
その他の包括利益合計	436	15,706
四半期包括利益	463,261	225,940
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	463,261	225,940
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	674,164	338,505
減価償却費	16,608	12,422
のれん償却額	2,524	9,058
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△13	87
受取利息及び受取配当金	△4	△1,031
支払利息	3,624	3,902
事業譲渡損益 (△は益)	△4,755	—
助成金収入	△14,513	—
固定資産除却損	—	934
売上債権の増減額 (△は増加)	11,124	△56,292
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,205	6,117
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	△160,874	1,149
仕入債務の増減額 (△は減少)	△22,114	5,587
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△236,604	△62,974
その他の資産の増減額 (△は増加)	△38,249	97,283
その他の負債の増減額 (△は減少)	△48,751	△22,008
その他	49	△231
小計	183,418	332,509
利息及び配当金の受取額	4	1,031
利息の支払額	△3,624	△3,902
助成金の受取額	14,513	—
法人税等の支払額	△122,710	△214,147
法人税等の還付額	816	525
営業活動によるキャッシュ・フロー	72,417	116,015
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△189	△64,321
無形固定資産の取得による支出	△25,150	△14,789
事業譲渡による収入	5,000	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△60,763
関係会社貸付けによる支出	—	△73,465
敷金の差入による支出	△1,084	△15
その他	△359	119
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,784	△213,235
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	200,000
短期借入金の返済による支出	—	△100,000
株式の発行による収入	3,139	107,080
自己株式の取得による支出	△162	△202,692
配当金の支払額	△115,186	△158,181
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,209	△153,794
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	231
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	38,424	△250,782
現金及び現金同等物の期首残高	1,607,873	1,513,712
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,646,298	1,262,929

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

第1四半期連結会計期間において、CARAFUL株式会社の全株式を取得し完全子会社化したため、連結の範囲に含めております。

また、2023年3月末時点で持分法適用の関連会社としていた一般社団法人涼香会について、第1四半期連結会計期間において、追加の資金貸付等の取引が発生し、当社が支配力を有することとなったため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	マーケティング事業	インベストメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,256,642	355,173	4,611,816	—	4,611,816
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,256,642	355,173	4,611,816	—	4,611,816
セグメント利益又はセグメント損失 (△)	599,687	114,906	714,593	△56,546	658,046

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額△56,546千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	マーケティング 事業	インベストメ ント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,639,980	54,767	2,694,747	—	2,694,747
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,639,980	54,767	2,694,747	—	2,694,747
セグメント利益又はセグメント損失 (△)	353,358	53,707	407,065	△63,029	344,036

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額△63,029千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。